

## 弓削高等学校

<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>



### 旅立ち～それぞれの道へ～

#### 令和2年度卒業証書授与式

3月1日(月)に令和2年度第72回卒業証書授与式を本校体育館で挙行了しました。

コロナウイルス感染拡大予防のために、やむなく規模を縮小し、在校生はオンラインでの参加となりました。今年度は28名の生徒が思い出の学舎を後にしました。



式典での答辞の言葉。「未知のウイルスにより今までどおりの生活ができなくなりました。前途多難な中、今まで以上に前向きになろうと思えました」「皆で過ごした何気ない時間が大好きでした」「一緒

に泣いて笑って怒って共に過ごした日々」「家族へ、たくさんのわがままに伝えてくれてありがとう」など高校3年間のあついあつい思いが詰まった感動的な答辞でした。

今年度はコロナの影響でいろんなことに我慢を強いられることがありましたが、卒業生は積極的に行事に参加しました。マイナスに物事をとらえず、制約があるなら、その分集中して取り組むという姿勢には、成長の一端を見ることができました。例年以上に工夫して考え抜かれた学校行事が開催されたのではないかと思います。



地域の方々にさまざまな形で支

えられ、本当に充実した3年間の高校生活を送ることができました。今まで卒業生をやさしく見守っていただき、本校の教育活動にご協力いただきまして本当にありがとうございました。

今、それぞれの道へ旅立ちます。今後とも温かい応援よろしくお願いたします。



### 島親募集!

チームで休日に食事等の面倒を見ていただける皆さまを募集します

連絡先 ☎ 77-2021

弓削高校 教頭 渡邊

旅立ち～それぞれの道へ～

弓削高校

卒業式

## かみじま郷土話 6 陸地だった瀬戸内海

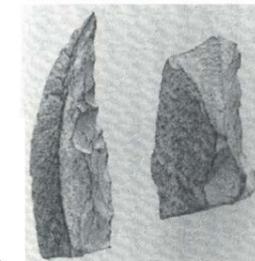
今から約7万年前から1万年前のころ、世界はウルム氷期と呼ばれる氷河期の時代となっていました。気温は現在よりも6度から10度ほど低く、海面は80mから140mほど低下していたといわれています。瀬戸内海の平均深度は38mなので、現在の海域一帯は植物が生い茂る大草原となっていました。また、大陸と陸続きになっていたため、ナウマンゾウやオオツノジカ、ヘラジカといった大型獣が、エサとなる植物を求めてこの大草原で生息していました。魚島周辺など、瀬戸内海の海域では漁網を引き揚げる際に、これら生き物の化石が発見されることがあります。

昭和30年から50年代にかけて、芸予諸島の各地で旧石器時代のものとみられる石器が発見されました。

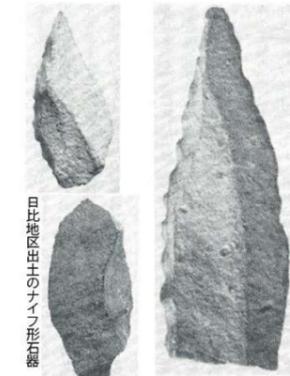
上島町では、弓削島の弓削遺跡(久司浦地区)、高浜八幡神社、日比、楡田や生名島の立石山、佐島、津波島などでサヌカイト製のナイフ形石器が発見されています。瀬戸内海が陸地だったころは、現在私たちが暮らしている島々は小高い丘陵地でした。大草原で生息している大型獣を狩猟の対象として生活していた当時の人々は、襲われる心配がないこのような高所を拠点として生活

していたものと思われます。瀬戸内海が現在のような風景になるのは、気候が温暖になり海面が上昇する1万年前以降の縄文時代早期からといわれています。厳しい氷河期の時代を生き抜いた人々は、環境の変化に対応しながら、今日までその生命をつないできました。

生名島 立石山遺跡出土のナイフ形石器



日比地区出土のナイフ形石器



弓削遺跡久司浦地区出土のナイフ形石器



教育課 曾根 大地

弓削地区・生名地区出土のナイフ形石器  
『愛媛県史』資料編 考古の写真をもとに作成

## 弓削商船高等専門学校

<https://www.yuge.ac.jp/>



新年度スタート!本校の魅力を紹介!

### 弓削商船創基120周年を迎えます

本校は明治34年(1901年)1月、愛媛県越智郡弓削村外1ヶ村組合立弓削海員学校として発足以来、今年度で創基120周年・高専創立50周年を迎えます。

10月には卒業生である、ライトハウス会長の込山洋一氏による講演会、11月には記念式典を開催予定です。

今後も上島町とともに、学生を育て、社会に貢献できる人材を輩出していきます。



### 弓削商船YouTube公開中!!



↑体育大会・商船祭の動画



↑情報工学科の授業の様子

本校の学校紹介ビデオを公式YouTubeチャンネルに公開しています。

12月に行われた体育大会、学校生活やイベントなど学生の様

子を掲載しています。

今後さらに充実したコンテンツを公開予定です。普段見ることのない学校の様子を皆さま、ぜひご覧下さい。



### 4月からGWまでの予定

- 4月3日～4日 寮生帰寮(約300名)
- 4月5日 新入生入寮(約100名)
- 4月6日 入学式
- 4月29日(祝日) 通常授業
- 5月1日～9日 ゴールデンウィーク

## 島おこし協力隊活動報告

こんにちは、島おこし協力隊の西尾です。3月末で協力隊卒業となりました。3年間、大変お世話になりました。引き続き町内にて暮らしてゆきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

協力隊の任期を振り返ってみます。私はこの3年間、せとうち交流館で現場職員の方々とともに勤務してきました。交流館事務、イベント、災害対応、観光発信、しまのひろばの管理、花の島構想、農業振興、サイクリング、環境保全、ほか、さまざまなお仕事を経験させていただきました。

1年目には次女が生まれました。仕事と育児のため、なかなか日々ゆとりを感じることはありませんでした。

これから住む場所について、早くか

## 3年間お世話になりました

ら空き家を紹介していただけただことで、現在は改修工事の真っただ中です。

プライベートでは、農業団体、地域、猟友会など6つの団体の役員にも就きました。その中で、高齢化による地域課題の大きさを身近に感じました。

現在は起業に向けた準備を少しずつ始めており、予定外の出費に頭を悩ませています。移住当初は農家として自立したいと考え、暇さえあれば農業の勉強をしていましたが、偶然の転機として新たな道が切り開かれました。

その結果、私は「養蜂業」に可能性を見出すことができました。まだゆとりのある暮らしには程遠く、休む暇もないような日々が続きますが、少しずつ生活を組み立てられたらと思います。



改修中の家屋



島おこし協力隊 西尾 諭